

美唄市地域インターネット導入促進基盤整備事業

注意：本ページの内容は、平成11年度総務省補助金交付時のものであり、現状と異なる場合があります。

事業の概要

美唄ハイテクセンタービル内にサーバを整備すると共に、市役所と公共施設25ヶ所（ハイテクセンタービル、出張所、体育館、図書館、勤労青少年ホーム、保健センター、介護支援センター、学校14校等）をネットワーク化して、行政、緊急防災、図書、地域の地図等の情報を、公共施設に設置した公衆端末及び各家庭からインターネット、FAX及び携帯電話を通じて地域住民に提供するとともに、電子メールによる相談等も受け付け、地域情報化によって住民へのサービス向上を図ると共に、インターネットに慣れ親しむ環境を提供します。

- 整備期間 平成11年度
- 総事業費 約42,000,000円
- 補助金額 約20,000,000円

主なアプリケーション

(1) 市政情報提供システム

市民向けの市役所の状況、施策、事務の説明と、簡単な受付事務が出来るシステム。広報紙や市の施設情報等暮らしにかかわる情報を公開し、住民は登載された情報に親しみながら欲しい内容を検索し見つけることができ、また家庭等からインターネットを通じて電子メールを活用し、個別の質問や講座の申込み等ができる双方向性を持ったシステム。（各課から回答を行う。）

(2) 緊急防災システム

万一の緊急時に防災情報を住民に知らせ、各地域からの電子メール等の機能を活用して高速での災害情報の収集も可能にするシステム。
情報端末以外にも、FAX、携帯電話にも対応できるようにする。

(3) 図書館蔵書検索システム

図書館にある本の検索システム。新刊情報や蔵書検索だけでなく、貸出中の図書検索も可能にする。

(4) 地図情報システム

美唄の管内図に道路、河川、公共施設、住居表示、避難場所等の情報を重ね、必要な項目を多重的に検索表示できるシステム。住民は、検索表示した地図により市政の状態を確認することができ、行政と協働によるまちづくりに参加出来るシステムとする。

イメージ図

